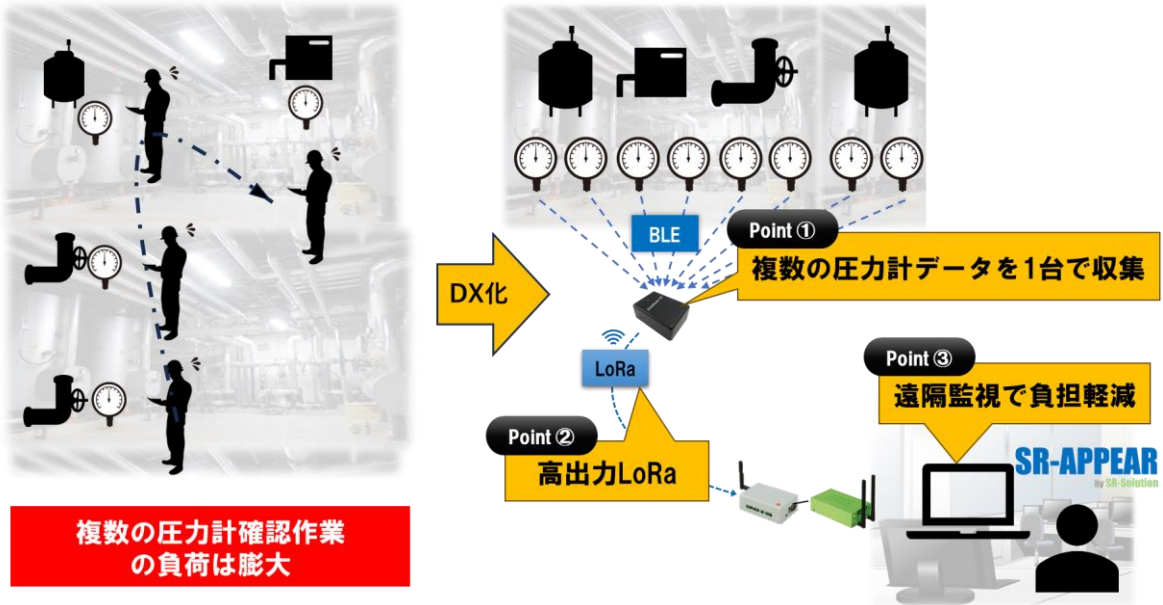


## 既存設備の簡素化を実現する『工事いらずの圧力計DX化』

### ■課題

製造装置の圧力管理に不備があるとラインの停止につながり、生産性や効率性の低下に直結します。圧力計器の管理では、工場内を人手によって計器が取り付けられている場所まで限なく人が行って計器数値を目視確認・書き留め・登録など作業時間がかかります。また、データ変化をリアルタイムに把握することが出来ません。

### 工事のいらずの圧力計DX化



### 【概要・期待効果】

目視確認していた計器値を専用センサで代用すれば、データ書留・データ登録の作業も自動で行えることで人為ミスの心配ありません。計器値はいつでもどこからでも閲覧が可能、異常時にはメール送信も可能です。既存の圧力計に専用センサを取り付けるだけで導入が可能です。

- Point① 複数の圧力計データを無線通信で収集し、巡回点検作業が不要
- Point② 障害物に強い高出力LoRa・多段中継ホップで迂回通信に対応。通信の障害となる建物の構造上による問題を解決
- Point③ 機械なので24時間フル稼働が出来ます。リアルタイム性を実現

